

[消費財関連事業]

〔住建事業〕

資本の財源及び資金の流動性

) 資金需要について

当社グループにおける主な資金需要は、運転資金及び事業の維持・拡大のための設備投資資金、そして配当金の支払等であります。これらの資金需要に対しては、主に自己資金（手元資金及び営業活動により獲得した資金）を充当しております。また、既存事業とのシナジー効果が期待できるM&Aを含め、今後においても当社グループの持続的成長につながる投資を積極的に行ってまいります。所要資金については、主に自己資金を充当す
E02560)

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2021年12月31日)	提出日現在発行数(株)		

2 【役員の状況】

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

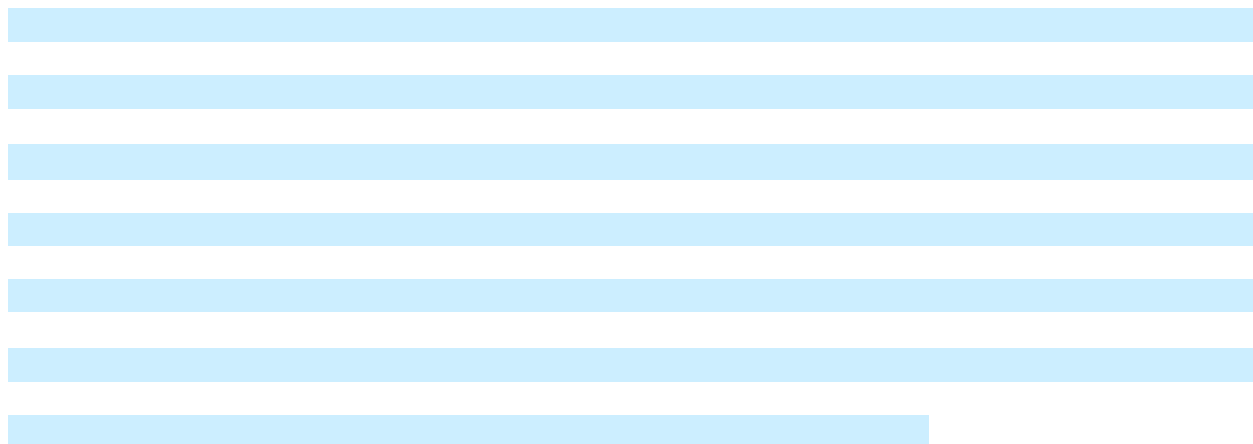
当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

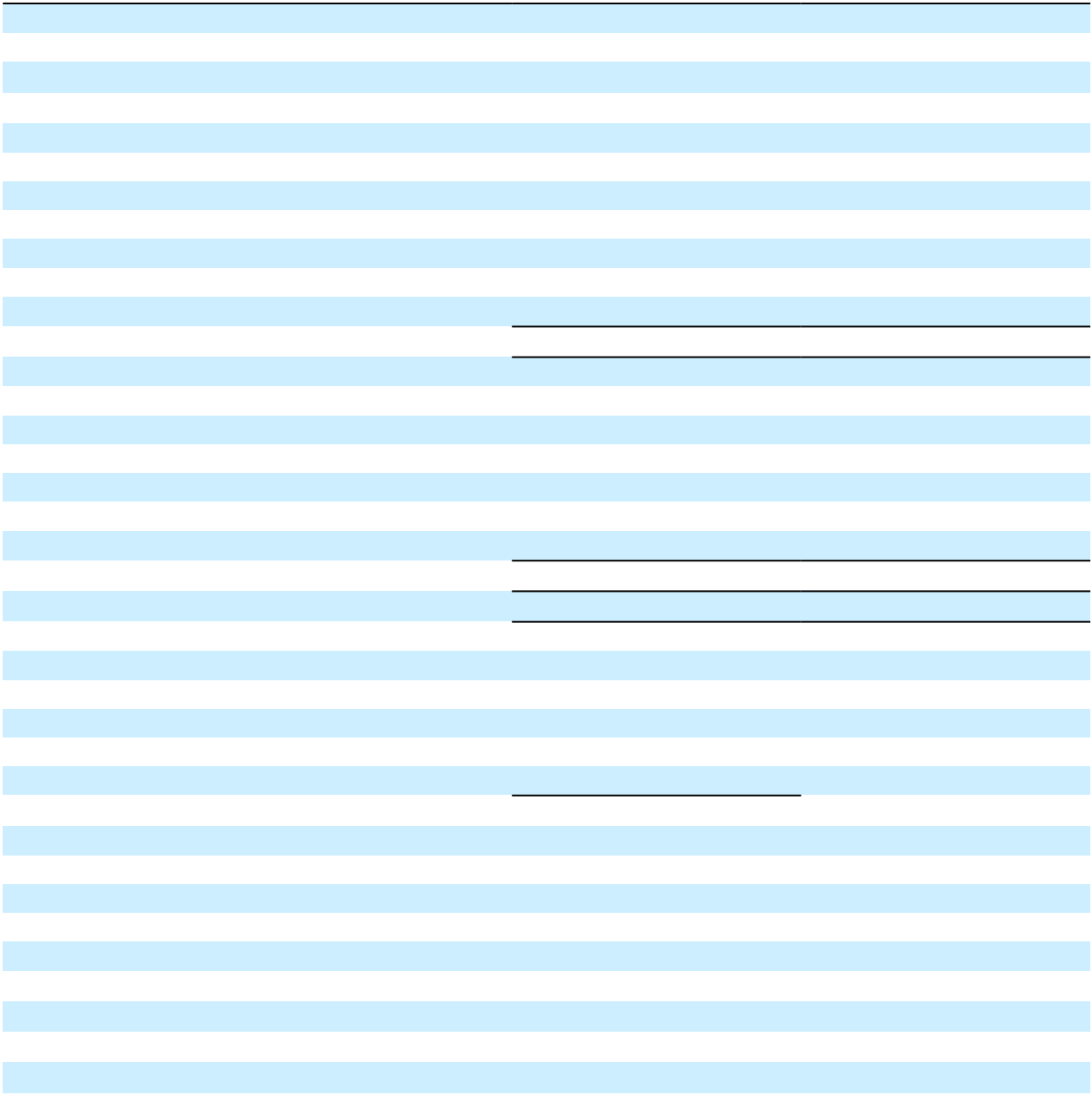
2．監査証明について

当社に
球窓夢 礎辺 殆 球窓欽 リ 逐熊顯_卹陀劫 嫩

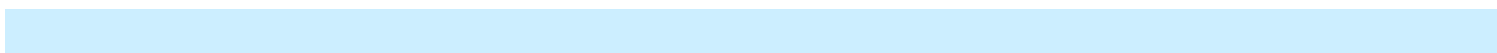
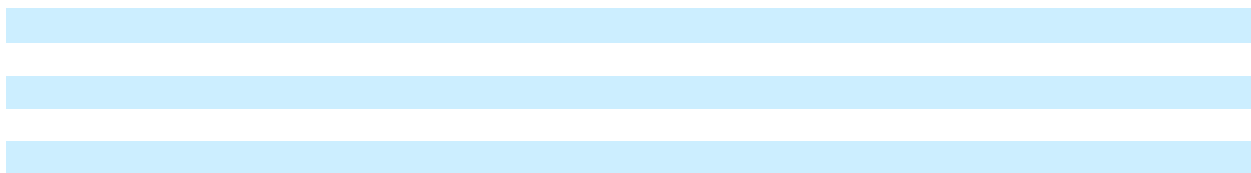
1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

The table content is redacted with light blue horizontal bars. There are 8 bars in total, covering the entire width of the table area. The bars are of varying lengths, with the last bar being significantly shorter than the others, suggesting it might be a total or a specific line item.



【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】



【注記事項】

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財
E02560)

(セグメント情報等)
【セグメント情報】
E02560)

(収益認識関係)

2【その他】

2021年11月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・ 890百万円
- (ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・ 10円00銭
- (ハ) 支払請求権の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・ 2021年12月10日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

E02560)

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認め